

平成27年度 日立市教育研究会先進校等派遣調査派遣研修報告書

日立市立櫛形小学校 教諭 大部 健

- 1 派遣期日 平成27年10月3日(土)
- 2 研修先 学校名 鹿角市立花輪小学校
所在地 秋田県鹿角市花輪字中花輪88
URL <http://www.ink.or.jp/~hanashou/>
- 3 研修内容

平成27年度学力向上フォーラム

(1) 公開授業

鹿角市立花輪小学校 鹿角市立花輪第一中学校
小坂町立小坂小学校 小坂町立小坂中学校

(2) 実践発表

能代市教育委員会指導主事 矢田部 瑞穂 氏
鹿角市立花輪第一中学校 教育専門監 中田 康弘 氏

(3) パネルディスカッション

テーマ 「主体的・協働的な学びの視点で秋田の探究型学力を検証する」
～教育専門監の実践を通して～

コーディネーター

秋田大学教育学部 阿部 昇 氏

パネリスト

文部科学省初等中等教育局視学官兼教科調査官 田村 学 氏

実践発表者 矢田部 瑞穂 氏

実践発表者 中田 康弘 氏

(1) 公開授業から学んだこと

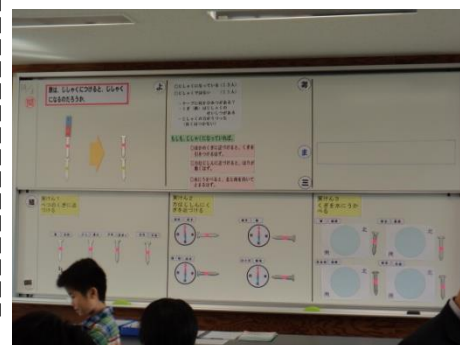
①問題→課題を作る授業の流れ「あきた型 算数・数学」

「あきた型 算数・数学」とは秋田県で行われている探究型の授業のことである。
基本的な流れは

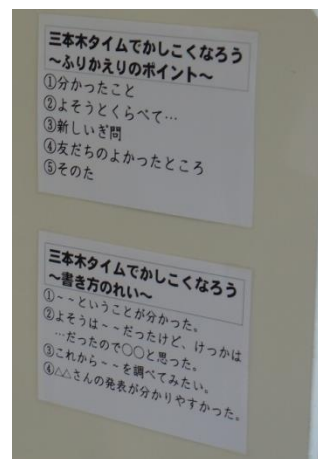
- ①短時間で意欲を引き出す導入
- ②問題提示から児童の疑問や困り感をもとに課題を設定する
- ③2種類の見通しを立てさせる
 - ・「答えがどうなりそうか」
 - ・「どうすれば問題を解決できそうか」
- ④自力解決→発表・比較検討
- ⑤児童の言葉を使ってまとめを作る
- ⑥まとめを使って実際に問題を解く
- ⑦振り返りを行う(三本木タイム)

というものである。

今回参観した鹿角市花輪小学校の算数も「あきた型」の流れで行われていた。②の問題提示から課題作成の部分では、問題は印刷してきたものをノートに貼らせ、課題を児童と共に



作っていくことに時間が割かれていたのが印象的だった。また、⑥ではまとめの有用性を児童に実感させるために練習問題を解かせるのだが、算数だけでなく理科でも問題が用意されていたことに驚いた。練習問題は授業の問題同様に印刷してきたものをノートに貼らせるものだった。秋田県では授業ごとに問題が用意されており、それを印刷して使うことができるので教師がその都度問題を作成しなくてもよいとのことであった。⑦の振り返りは、「三本木タイム」という名称で行われていた。授業を児童に振り返らせる際に、「分かったこと」や「新しい疑問」、「友達の良かったところ」といった項目を与えて振り返りを行わせていた。



②ノートの使い方

様々な授業を参観することができた。そこで気付いたことが、ノートの使い方に統一感があるということだ。教科や学年が異なっても課題→問題→自力解決や友達の考え→まとめ→練習問題という流れは変わらなかった。学校全体でノートの使い方を統一することが秋田県の学力向上に一役買っていると思われる。

③単元の流れが分かる掲示物

各教室の全面にホワイトボードが用意されていた。ホワイトボードには今まで単元で学習してきたことが掲示物として蓄積されていた。どの教室の掲示物も単元の流れが分かる素晴らしい掲示物であった。授業者はその掲示物を使いながら、児童に今まで学習してきたことを復習させていた。



(2) 実践発表及びパネルディスカッションから学んだこと

実践発表は、秋田県の教育専門監の先生の実践を聞くことができた。算数・数学が専門である中田先生からは「あきた型 算数・数学」の授業の流し方について詳しく話を聞くことができた。楡形小学校では「くしっ子学習スタイル」として探究的な学習を行っている。「あきた型 算数・数学」も正に「くしっ子学習スタイル」そのものであり、楡形小学校が目指している授業であった。私は探究的な学習の流れを理解しているつもりでも、実際にそれを行うとなるとイメージができなかった。しかし、今回の研修を通して探究型の授業を参観し、それに対する詳しい解説を行ってもらったことによって自分の授業を変えていける良い機会になった。

パネルディスカッションでは、文部科学省の教科調査官である田村先生の話聞きことができた。ディスカッションの中で一番印象的だったのが、今の子どもたちが成人する際には既存の職業の6割を機械が担うことになるという調査結果がでていたというものだ。そのため、将来子どもたちが就く職業は、何かを生み出していく創造的な職種になる。したがって、学校が探究的な学習スタイルを取り入れ、子どもたち自らが学んでいくような経験を積みせないと未来に存在する職に就けなくなってしまう。この話を聞いて、楡形小学校で取り入れられている探究的な学習スタイルがいかに必要性のあるものか理解することができた。